

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成21年2月3日（火） 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室（小白川キャンパス、事務局4階）

学 長 挨 拶

発 表 事 項

1. 大学教育の国際化加速プログラム（海外先進教育研究実践支援）
特別講演会開催について
2. 留学生による日本語発表会の開催について
3. 県民と外国人留学生との交流会の開催について
4. 産学官連携セミナーの開催について
5. 理学部と山形工業高等学校の高大連携事業に関する協定締結について

お 知 ら せ

1. 平成21年度山形大学個別学力検査等の取材について
2. 工学部と東根市内企業・東根工業高校との意見交換会の開催について
3. 農学部と鶴岡工業高等専門学校との学術交流に関する協定締結について
4. 附属特別支援学校「ハートバザー」の開催について

（参 考）

○ 次回の学長定例記者会見（予定）

日 時：2月17日（火） 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室（小白川キャンパス、事務局4階）

平成21年2月 3日
山形大学

平成20年度大学教育の国際化加速プログラム
(海外先進教育研究実践支援)
特別講演会の開催について

山形大学では、平成20年度文部科学省「大学教育の国際化加速プログラム」の採択をうけて「協働する教育改善マネジメント・サイクル」と題して、教員・職員・学生が協働する国際通用性の高い学生支援システム、海外調査・研究に取り組んでいます。

この度、このプログラム事業の一環として別紙パンフレットのとおり特別講演会を開催します。(講演には、全て逐次通訳を配置いたします。)

1. 特別講演会の概要

テーマ：「協働する教育改善マネジメント・サイクル」

～教員、職員、学生が協働する国際通用性の高い学生支援システムの実現～

【第1回】

日時：平成21年2月10日(火) 14:00～17:10

会場：山形大学小白川キャンパス事務局第1会議室

講演会タイトル：大学寄附募集戦略の新たな展開

～日米の先進事例に学ぶ卒業生に支持される大学創り～

内容：慶應大学、イエール大学からゲストスピーカーを迎え、日米の寄附募集戦略について後援会を開催します。

【第2回】

日時：平成21年3月2日(月) 14:00～17:05

会場：山形大学小白川キャンパス事務局第1会議室

講演会タイトル：学生・教員・職員協働の大学創りを目指して

内容：エンrollment・マネジメントを最初に米国で提唱したジョン・マグワイヤ博士をゲストスピーカーに迎え講演会を開催します。

2. 文部科学省「大学教育の国際化加速プログラム」とは

我が国の高等教育の国際的通用性・共通性の向上を図るため、大学等の教職員を海外の教育研究機関等に派遣し、高等教育改革を一層促進させることを目的としています。

(お問い合わせ)

山形大学企画部国際交流ユニット 小山

電話：023-628-4927

E-mail: kmryug@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

山形大学

協働する教育改善マネジメント・サイクル

～教員、職員、学生が協働する国際通用性の高い学生支援システムの実現～

特別講演会開催

第1回

日本、米国を代表する私立大学の寄附募集戦略に学びます。

日時：2009年2月10日(火) 14:00-17:10

場所：小白川キャンパス事務局第1会議室

講演会タイトル

大学寄附募集戦略の新たな展開

～日米の先進事例に学ぶ卒業生に支持される大学創り～

第2回

「エンrollment・マネジメント」を、米国で最初に提唱した Maguire博士の講演です。

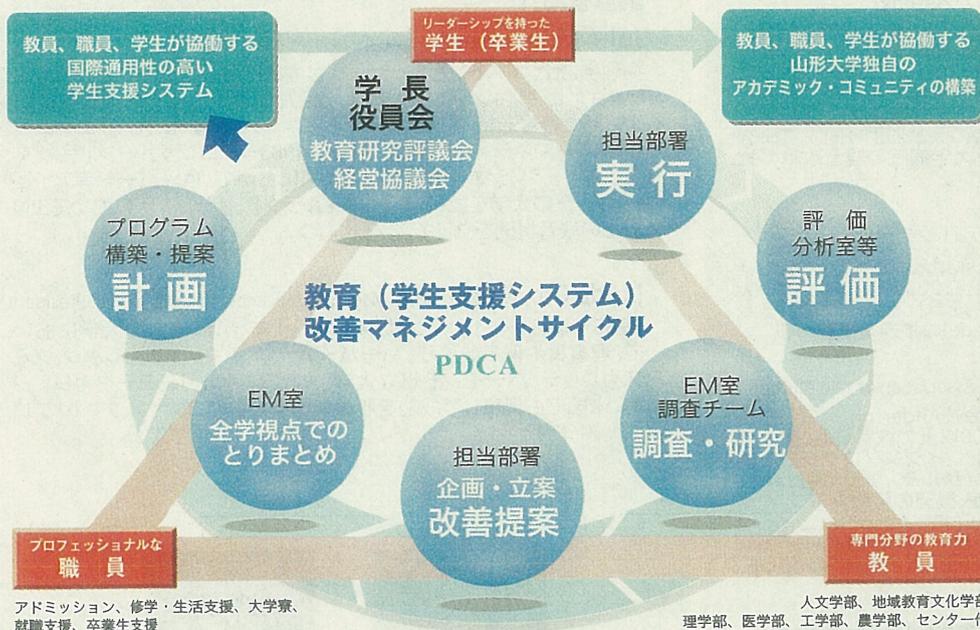
日時：2009年3月2日(月) 14:00-17:05

場所：小白川キャンパス事務局第1会議室

講演会タイトル

学生・教員・職員協働の大学創りを目指して

山形大学「協働する教育改善マネジメント・サイクル」のイメージ図



平成20年度に実施した米国大学の先進事例調査・研究



- エンrollment・マネジメントに関する先進事例を持つ大学
- アドミッション・オフィスに関する先進事例を持つ大学の調査・研究
- 学生生活、寮、就職支援に関する先進事例を持つ大学の調査・研究
- 留学生の受け入れ及び支援に関する先進事例を持つ大学
- 卒業生支援及び寄附募集に先進事例を持つ大学

学外からの参加希望のみなさまは、電子メールまたはFAXにて参加申込をお願いいたします(当日参加も可能ですが、資料等の準備がございますので、事前申込をよろしくお申し込み申し上げます)。

学外からの参加申込は、「参加希望講演会(第1回、第2回、第1回第2回共)」「所属」「お名前」「ご連絡先(お電話番号または電子メールアドレス)」を明記の上、以下までお申し込み下さい。

参加申込・お問い合わせ：山形大学企画部国際交流ユニット／担当：小山(こやま)
〒990-8560 山形市小白川町1-4-12 TEL:023-628-4927 FAX:023-628-4120
e-mail: kmryug@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

特別講演会開催

第1回

日時：2009年2月10日(火) 14:00-17:10
場所：山形大学小白川キャンパス事務局第1会議室
講演会タイトル

大学寄附募集戦略の新たな展開

～日米の先進事例に学ぶ卒業生に支持される大学創り～

当日スケジュール

- 14:00-14:10 開会挨拶
山形大学 理事(財務・EM・業務改善担当) 三觜 守
- 14:10-14:55 慶應義塾大学 大学院事務局局長兼信濃町キャンパス
事務長 原 邦夫氏講演(45分)
講演タイトル:「寄附募集活動と大学の挑戦
～慶應義塾大学のケーススタディ～」
- 14:55-15:25 株式会社BJ エグゼクティブディレクター
松田志津代氏講演(30分)
講演タイトル:「米国の寄附募集戦略の動向」
- 15:35-16:35 イェール大学同窓会 エグゼクティブディレクター
マーク・ドロホップ氏講演(60分)
通訳あり
講演タイトル:「寄附募集における同窓会の役割
～フレンドレイジングからファンドレイジングへ～」
- 17:05-17:10 閉会挨拶 山形大学 学長 結城章夫

講演者紹介

原 邦夫氏(大学病院 事務局長兼信濃町キャンパス事務長)
慶應義塾入職後、経理部経理課長、人事部長等を経て、2001年研究支援センター部長、研究助成センター部長、知的資産センター事務長、2002年経営改革プロジェクト室事務長、2006年経理部長兼経営改革プロジェクト室事務長、2007年大学病院事務局長兼信濃町キャンパス事務長、人事制度の再構築、資金運用・資金計画および経営改革などの業務に携わる。大学行政管理学会の会長および同人事研究グループのリーダーを歴任。現在、医学部・大学病院の経営改革の推進役を務める。

松田志津代氏(株式会社BJ エグゼクティブディレクター)

全日本空輸株式会社等を経て、2003年12月より現職。米国の経営と教育システムに関する調査・企画を担当。2009年6月イェール大学同窓会と日本の大学の同窓会との間で行われる交流プログラム(GALE:Global Alumni Leadership Exchange)の推進役を務める。

Mark R. Dollhopf氏(Executive Director, Association of Yale Alumni)

1980年ファンドレイジングコンサルタント会社Anderson, Cole & Dollhopf社設立。アイビー・リーグはじめ100以上の教育機関、医療機関、政府関連機関等への革新的なファンドレイジングプログラムを導入。1993年戦略立案・マネジメントのコンサルティング会社Janus Development社設立。国内外の非営利法人機関の組織変革、リーダーシップ、人材開発等の指導にあたる一方で、Association of Fundraising Professional, Counsel for the Advancement and Support of Education等のチーフインストラクターも歴任。2001年、2004年イェール賞を受賞。2006年より現職。



Mark R. Dollhopf氏

第2回

日時：2009年3月2日(月) 14:00-17:05
場所：山形大学小白川キャンパス事務局第1会議室
講演会タイトル

学生・教員・職員協働の 大学創りを目指して

当日スケジュール

- 14:00-14:05 開会挨拶
山形大学 理事(財務・EM・業務改善担当) 三觜 守
- 14:05-14:50 米国の先進事例調査報告
米国現地調査に参加した山形大学教職員による報告
- 14:50-15:20 山形大学・立命館大学連携における職員交流成果の
事例紹介
「学生中心の大学創り」
- 15:30-16:50 マグワイヤ・アソシエーツ社チエアーマン
ジョン・マグワイヤ氏講演
同社エグゼクティブ・バイス・プレジデント
リンダ・コックス・マグワイヤ氏講演(70分)
通訳あり
講演タイトル:「学生が協働する大学創りのための
大学経営戦略 ～米国の先進事例からの提言～」
- 17:00-17:05 閉会挨拶 山形大学 学長 結城章夫

講演者紹介

John Maguire氏(Maguire Associates Chairman)

物理学博士。ボストンカレッジが経営危機に瀕した1970年代にアドミッションセクションディレクターとして活躍し、同カレッジを経営的に安定させた経歴を持つ。その際、大学マネジメント手法として「エンrollment・マネジメント」理論を構築。1983年にコンサルタント会社マグワイヤ・アソシエーツを設立。米国において、ハーバード等アイビー・リーグの大学を始め、英国、アイルランド、オランダ等において350以上の教育機関をクライアントにもつ。

Linda Cox Maguire氏(Maguire Associates Executive Vice President)

1985年以来、同社のコンサルタントとして活躍。複数の大学において、理事長や理事を歴任。ハーバード大学、アマーストカレッジ、スミスカレッジ、バーモント州立大学、マウントホーリーヨークカレッジ等、米国でも傑出して成功を収めている大学のコンサルタント・プロジェクトを手がける。



John Maguire氏



Linda Cox Maguire氏

平成21年2月3日
山形大学

留学生等による日本語発表会

山形大学の外国人留学生等による日本語の発表会を開催します。初級から上級のレベルまでそれぞれの学生が、これまでに学んだ日本語の成果を発表します。

日 時：平成21年2月12日（木）9：30～16：15

場 所：山形大学教養教育1号館 127番教室

発表者：18名

（出身国：中国，韓国，アメリカ，エストニア，ラトビア）

対 象：山形大学教職員・学生及び一般の方

参加費：無料

* 事前申込は不要で，一般の方の来場をお待ちしています。

（お問い合わせ）

国際センター 黒沢（くろさわ）

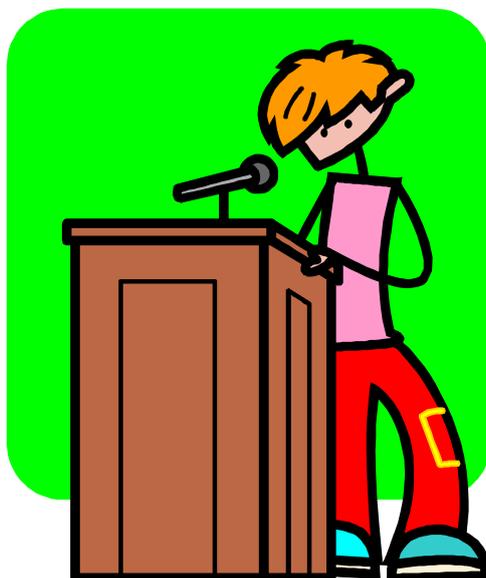
電話：023（628）4928

山形大学国際センター

日本語発表会のお知らせ

国際センターでは、各国からの留学生が日本語や日本文化を学んでいます。

日本語発表会では、これまでの学習の成果を生かし、母国の紹介や今後の研究計画・
課題を発表します。



出入りは自由ですので、皆様、お気軽にご参加ください。

日時：平成21年2月12日（木曜日）

〔午前部 09:30~12:05〕
〔午後部 13:00~16:15〕

**会場：山形大学小白川キャンパス
教養教育1号館127室**

山形大学国際センター

TEL：023-628-4119

E-mail: kmryug@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



平成21年2月3日
山形大学

平成20年度県民と外国人留学生との交流会

山形県内には、平成20年10月1日現在で、237名の留学生が在学しています。山形大学を会場として、県内高等教育機関に在学中の外国人留学生等と関係機関の教職員・学生、外国人留学生支援団体による交流会を開催します。

1. 日時：平成21年2月6日（金）16時30分～18時
2. 会場：山形大学厚生会館1階食堂（小白川キャンパス内）
3. 目的：山形県民と県内高等教育機関在学中の外国人留学生とが交流を図ることにより、相互の理解を深め、地域社会における国際交流の推進を図る。
4. 参加者：山形県留学生交流推進協議会会員，同運営委員会委員，外国人留学生支援団体，県内高等教育機関在学中の外国人留学生，チューター，外国人研究者，県内高等教育機関関係職員
5. 主催：山形県留学生交流推進協議会，大学コンソーシアムやまがた

（お問い合わせ）

企画部国際交流ユニット

山口（やまぐち）

電話：023（628）4118

平成21年2月 3日
山形大学

産学官連携セミナーの開催について

日本全体が混迷を深める現在、大学には地域の知の拠点として将来を拓く知的創造が今まで以上に求められています。

本セミナーは、研究者がその研究活動をさらに拡大させ、その成果をしっかりとした知的資源として形作っていくための各種手法について、第一線の専門家を招いて理解を深めることを目的としています。

1. セミナーの概要

テーマ：「研究者のための研究資金調達から知的創出まで」

主催：山形大学・大学コンソーシアムやまがた

日時：平成21年2月5日(木) 13:00～16:45

会場：ホテルメトロポリタン山形 4F「霞城の間」(山形市香澄町)

サテライト会場：

庄内地区：いろり火の里 文化館なの花ホール

最上地区：ニューグランドホテル新庄

置賜地区：伝国の杜

※注：サテライト会場は映像配信になります。

内容：詳細については、別紙パンフレットを参照願います。

申込：1月30日までとしておりますが、当日の参加も受け付けます。

2. その他

本セミナーは、平成20年度文部科学省戦略的産学官連携支援事業及び産学官連携戦略展開事業の一環として開催するものであります。

(お問い合わせ)

山形大学 大学連携推進室

電話：023-628-4804

E-mail：daiaren@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

民間企業

大学

公設試験
機関

産学官

連携セミナー

「研究者のための研究資金調達から知財創出まで」

日本全体が混迷を深める現在、大学には地域の知の拠点として将来を拓く知的創造が今まで以上に求められています。本セミナーは、研究者がその研究活動をさらに拡大させ、その成果をしっかりとした知的資産として形作っていくための各種手法について、第一線の専門家を招いて理解を深めることを目的とし、平成20年度文部科学省戦略的産学連携支援事業及び産学官連携戦略展開事業の一環として開催するものです。皆様のご参加をお待ちしております。

平成21年 **2月5日** (木)

13:00～16:45 (受付12:30～)

メイン会場

メトロポリタン山形 4F 「霞城の間」

山形県山形市香澄町1丁目1-1 TEL: 023-628-1111

サテライト会場

- 庄内地区：いろり火の里 文化館なほ花ホール
- 最上地区：ニューグランドホテル新庄
- 置賜地区：伝国の杜

※注：サテライト会場は映像配信になります。

内容

〔第1部 13:00～14:25〕

基調講演1 「研究資金獲得法について」
(お茶の水女子大学 教授 塩満典子 氏)

基調講演2 「コンプライアンスについて」
(文部科学省科学技術・学術政策局調査調整課競争的資金調整室 担当者)

〔第2部 14:40～16:45〕

基調講演3 (文部科学省研究振興局研究環境・産学連携課技術移転推進室 担当者)

講話1 「山形大学知財実践機構(RIIP)の紹介」
(山形大学 地域共同研究センター長 小野浩幸)

講話2 「研究論文と知財 研究者の視点から」
(山形大学 地域共同研究センター知的財産マネージャー 横島重信)

基調講演4 「大学における研究開発と知財戦略
～研究開発の新しい視点を広げるMTマトリックス～」
(IPトレーディング・ジャパン株式会社 代表取締役社長兼CEO 梅原潤一 氏)

民間企業

大学

公設試験
機関

産学官連携セミナー

研究者のための研究資金調達から知財創出まで

平成21年 2月5日(木)

13:00～16:45 (受付 12:30～)

メイン会場

メトロポリタン山形 4F

「霞城の間」

山形県山形市香澄町1丁目1-1 TEL: 023-628-1111

サテライト会場

庄内地区

いろり火の里 文化館なほ花ホール(多目的ホール)
山形県東田川郡三川町大字横山字堤172-1
TEL: 0235-66-4833

最上地区

ニューグランドホテル新庄(花梨)
山形県新庄市若葉町4-23
TEL: 0233-23-1111

置賜地区

伝国の杜(大会議室)
山形県米沢市丸の内1丁目2-1
TEL: 0238-26-2666

※注: サテライト会場は映像配信になります。

〔第1部 13:00～14:25〕

- 13:00～13:05 開会挨拶(山形大学 学長 結城章夫)
13:05～13:45 基調講演1「研究資金獲得法について」
(お茶の水女子大学 教授 塩満典子 氏)
13:45～14:25 基調講演2「コンプライアンスについて」
(文部科学省科学技術・学術政策局調査調整課競争的資金調整室 担当者)
14:25～14:40 休憩

〔第2部 14:40～16:45〕

- 14:40～14:45 主催者説明(山形大学 副学長 小山清人)
14:45～15:15 基調講演3(文部科学省研究振興局研究環境・産学連携課技術移転推進室 担当者)
15:15～15:30 講話1「山形大学知財実践機構(RIIP)の紹介」
(山形大学 地域共同研究センター長 小野浩幸)
15:30～15:45 講話2「研究論文と知財 研究者の視点から」
(山形大学 地域共同研究センター知的財産マネージャー 横島重信)
15:45～15:50 休憩
15:50～16:40 基調講演4「大学における研究開発と知財戦略
～研究開発の新しい視点を広げるMTマトリックス～」
(IPTレーディング・ジャパン株式会社 代表取締役社長兼CEO 梅原潤一 氏)
16:40 閉会

< 参加申込み方法 >

申込み期限 / 1月30日(金)

氏名、所属機関(部局)、住所、電話番号、E-mail アドレスを明記し、下記のいずれかの方法でお申込み下さい。

FAX ☎ 023-628-4078

Email ✉ dairen@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

主催 / 山形大学・大学コンソーシアムやまがた

お問い合わせ: 山形大学 大学連携推進室(担当: 樋口) TEL: 023-628-4804 FAX: 023-628-4078 E-mail: dairen@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

参加申込書	[氏名]
	[所属等]
	[連絡先] 〒 TEL:
	[E-mail]

平成21年 2月 3日
山 形 大 学

山形大学理学部と山形工業高等学校が 高大連携事業に関する協定を締結

山形大学理学部(学部長 櫻井敬久)と山形県立山形工業高等学校(校長 早坂 満)は、連携と協力を推進することにより相互の発展を図ることに合意し、高大連携事業に関する包括連携協定を締結しました。

山形大学理学部と山形県立山形工業高等学校は、高校3年間と大学4年間の一貫した理科教育の促進を図り、本県産業を担う人材育成を推進するため、高大連携事業に関する協定を締結しました。山形大学理学部が高等学校と包括連携協定を締結するのは、今回が初めてで、山形工業高等学校は東北芸術工科大学、山形県立産業技術短期大学校に続く3大学目となります。

この調停式が、平成21年1月29日(木)に山形大学理学部において行われ、関係者列席のもと、櫻井敬久理学部長と早坂 満校長が協定書に調印しました。

本協定の発効は平成21年2月1日で、今後、次のような内容の連携を進めていきます。

- (1) 大学教員による理科教育科目及び「科学技術」での特別講義の実施
- (2) 高校教員の指導力向上への支援
- (3) 大学の学生の高校での教育実習や模擬授業の受け入れ
- (4) 教育実習時の高校教員による実習生への指導
- (5) 高校から大学への継続教育内容及び方法の研究
- (6) 大学祭、山工祭、課外活動における交流活動の実施
- (7) その他、この協定の目的を達成するための活動

(お問合せ先)
山形大学理学部事務ユニット 三宅 和広
電話：023(628)4502

山形大学理学部と山形県立山形工業高等学校との 高大連携事業に関する協定書

山形大学理学部（以下「大学」という。）と山形県立山形工業高等学校（以下「高校」という。）は、高校3年間と大学4年間の一貫した理科教育の促進を図り、本県産業を担う人材育成を推進するため、次のとおり協定を締結する。

（連携事業）

第1条 大学と高校は、次に掲げる事項について連携するものとする。

- (1) 大学教員による理科教育科目及び「科学技術」での特別講義の実施
- (2) 高校教員の指導力向上への支援
- (3) 大学の学生の高校での教育実習や模擬授業の受け入れ
- (4) 教育実習時の高校教員による実習生への指導
- (5) 高校から大学への継続教育内容及び方法の研究
- (6) 大学祭、山工祭、課外活動における交流活動の実施
- (7) その他、この協定の目的を達成するための活動

（発効）

第2条 本協定は、平成21年2月1日をもって発効する。

（継続及び中止）

第3条 大学または高校のいずれかが中止を申し出ない限り、この協定は継続するものとする。大学または高校のいずれかが中止を申し出た場合は、この協定は中止するものとする。

（その他）

第4条 本協定に定めのない事項及び本協定に関して疑義が生じた事項については、大学と高校が協議の上、決定する。

本協定の締結を証するため、大学・高校双方が署名捺印の上各1通を保有する。

平成 21 年 1 月 29 日

国立大学法人山形大学
理学部長

山形県立山形工業高等学校長

プレス通知資料（概要）

平成21年2月3日
山形大学

1. 平成21年度山形大学個別学力検査等の取材について

（概要）

平成21年度山形大学個別学力検査等の取材について、別添のとおりとさせていただきますので、取材に当たっては十分ご留意くださいますようお願いいたします。

問い合わせ：入試ユニット 今野

（TEL）023-628-4141

※〔詳しくは、別添の資料をご覧ください〕

2. 工学部と東根市内企業・東根工業高校との意見交換会の開催について

（概要）

東根市内企業が求める人材を育成・輩出する有効な教育プログラム構築の参考とするため、市内企業のトップから、会社概要と今後の経営戦略、企業が求める人材像について説明をいただき、山形大学工学部・東根工業高校から高大連携も視野に入れ、教育現場における人材教育の現況報告を行い、その後、意見交換を行います。

日時：平成21年2月10日（火）14：00～17：00

会場：さくらんぼ東根温泉「よし田川別館」

参加者：・東根市内企業4社のトップを予定

- ・山形大学工学部
- ・県立東根工業高等学校（校長、進路指導主事、2学年生徒）
- ・東根市（副市長、経済部長、商工観光課長、商工労政係、市役所若手職員）

問い合わせ：工学部研究支援室 滝口・池野

（TEL）0238-26-3004

3. 農学部と鶴岡工業高等専門学校との学術交流に関する協定締結について

(概要)

山形大学農学部と鶴岡工業高等専門学校とは、これまでの連携協力関係をさらに強化し、研究及び教育の分野における相互協力を円滑かつ効果的に実施することを目的として、多様な分野で包括的に連携・協力をしていくことに合意し協定を締結しました。

協定締結：平成21年1月29日（木）

問い合わせ：農学部企画広報室長 菅原幹夫

(TEL) 0235-28-2803

※〔詳しくは、別添の資料をご覧ください〕

4. 附属特別支援学校「ハートバザー」の開催について

(概要)

今年初めて取り組んだ山形大学でのバザーの成功。さらに、公開研での取り組みのまとめとして、チラシ作り、チラシ配り（生徒達が2週間かけて学校近辺に1000枚近く配りました）・のぼり作成など、製品を販売するための準備も含めて毎日取り組んできました。

小学部・中学部・高等部とも「おうちの方が見に来てくれる」「地域の方が来てくれる」など、多くの人との「つながり」を実感してほしいと思います。

そして、自分だけでなく多くの人の中で自分が存在している自己存在感、多くの人の前でできた自己実現の感動を全ての子ども達に感じてほしいと思います。

日時：平成21年2月24日(火) 10:00～14:00

会場：ジャスコ山形南店「トイザラス前」（山形市若宮）

問い合わせ：附属特別支援学校（小白川事務部附属学校事務ユニット）

(TEL) 023-631-0918

※〔詳しくは、別添の資料をご覧ください〕

平成 21 年 2 月 3 日
山 形 大 学

平成 2 1 年度山形大学個別学力検査等の取材について

平成 2 1 年度山形大学個別学力検査等の取材について、別紙「平成 2 1 年度個別学力検査等取材要領」のとおりとしますので、取材に当たっては十分御留意くださるようお願いいたします。

集合時刻・場所

前期日程

人文学部：2月25日（水） 9時30分 教養教育1号館西口
地域教育文化学部：
2月25日（水） 9時00分 地域教育文化学部1号館北口
理学部：2月25日（水） 9時00分 理学部1号館入口
医学部：2月25日（水） 9時30分 医学部基礎棟玄関
工学部：2月25日（水） 9時30分 工学部学生サポートセンター
農学部：2月25日（水） 13時00分 農学部1号館入口

後期日程

人文学部：3月12日（木） 9時30分 人文学部1号館正面玄関
地域教育文化学部：
3月12日（木） 9時00分 教養教育1号館西口
医学部：3月12日（木） 9時00分 医学部基礎棟玄関

試験当日、小白川キャンパスに車輛で入構する場合は、本部事務棟前の外来駐車場に駐車願います。

なお、次の時間帯は、正門から車輛の入・出構はできませんので、入・出構の経路については、別紙を参照願います。

【前期日程】 2月25日（水） 8：00～10：00，11：30～13：30
14：30～16：00
【後期日程】 3月12日（木） 8：30～10：00，10：30～12：00

（お問い合わせ）
入試ユニット 今野
電話：023（628）4141

平成21年度個別学力検査等取材要領

山形大学

- 1 個別学力検査等の取材については、下記期日までに試験場責任者（各学部長）の了承を得てください。

なお、その後の申出については受けられないことがありますので、ご注意ください。

【申出期限】

前期日程は2月20日（金）、後期日程は3月10日（火）とします。

【連絡先】

人文学部 地域教育文化学部	入学試験チーム	☎(直通)023(628)4141
理学部	入試担当	☎(直通)023(628)5049
医学部	入試担当	☎(直通)0238(26)3013
工学部	学務担当	☎(直通)0235(28)2808

- 2 試験室内の撮影取材は、前期日程は2月25日（水）、後期日程は3月12日（木）とし、試験場責任者の指定する職員の立会いのもとで行ってください。

(1) 撮影は、試験場責任者が指定した試験室でのみ許可します。

(2) 撮影時間は、試験開始前の次の時間内（10分以内）とします。

前期日程：2月25日（水）

人文学部	9：40～9：50
地域教育文化学部	9：10～9：20
理学部	9：10～9：20
医学部	9：40～9：50
工学部	9：40～9：50
農学部	13：10～13：20

後期日程：3月12日（木）

人文学部	9：40～9：50
地域教育文化学部	9：10～9：20
医学部	9：10～9：20

(3) 受験者に動揺を与えないよう注意してください。

(4) 受験者が特定できるような撮影は、禁止します。

- 3 取材者は、必ず各社の腕章を着用してください。

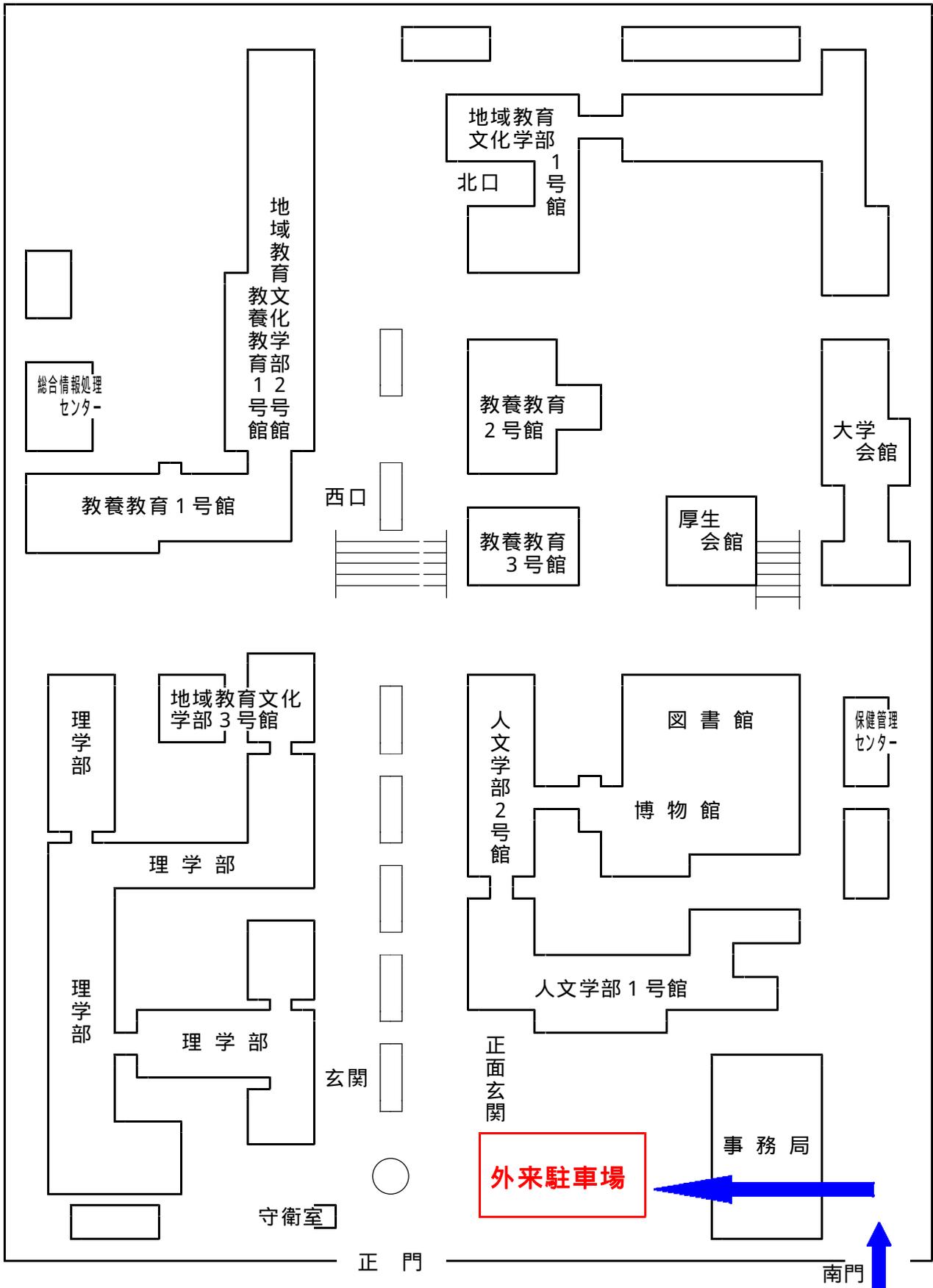
- 4 身体に障害のある受験者の取材については、あらかじめ本人の了解を得る必要があるため、試験場責任者の指示に従ってください。

- 5 不測の事態発生時の取材について

不測の事態が発生して試験が中止された場合等においても、必ず試験場責任者の指定する職員の指示に従ってください。

- 6 個別学力検査等の実施に関しての不明な点については、入試ユニットに問い合わせてください。（☎(直通)023(628)4141）

入・出構内経路



山形大学農学部と鶴岡工業高等専門学校との 学術交流に関する協定の概要について

平成21年1月29日
山形大学農学部
鶴岡工業高等専門学校

【協定の概要】

- 趣 旨** 山形大学農学部と鶴岡工業高等専門学校とは、これまでの連携協力関係をさらに強化し、研究及び教育の分野における相互協力を円滑かつ効果的に実施することを目的として、多様な分野で包括的に連携・協力をしていくことに合意する。
- 連携項目** (1) 情報交換
(2) 研究協力, 共同研究
(3) 研究設備の相互利用
(4) シンポジウム等の開催
(5) その他研究及び教育に寄与する活動
- 連絡調整窓口** 農学部と鶴岡高専は、連携・協力の円滑な推進を図るため、双方に連絡調整窓口を設け、必要な協議を行うこととしている。
連絡調整窓口は、農学部では企画広報室とし鶴岡高専では企画室、とすることとした。
- 今後の連携事業** 本協定に基づき、今後下記の事業を実施することとした。
- 1 農学部・鶴岡高専連携推進プロジェクトの実施
 - 2 農学部・鶴岡高専ジョイント市民講座の開催
 - 3 共同研究プロジェクトの推進

山形大学農学部と鶴岡工業高等専門学校との 学術交流に関する協定書

山形大学農学部（以下「甲」という。）と鶴岡工業高等専門学校（以下「乙」という。）は、学術交流において広く協力することにより、相互の研究及び教育の推進を図るため、次のとおり協定を締結する。

（目的）

第1条 本協定は、甲及び乙が研究及び教育の分野における相互協力を円滑かつ効果的に実施するため、必要な基本的事項を定めるものである。

（協力の確保）

第2条 甲及び乙は、両組織間における研究及び教育の分野における相互協力の重要性を認識し、相互に密接な協力を確保するものとする。

（協力の実施）

第3条 甲及び乙は、次に掲げる相互協力を実施するものとする。

- (1) 情報交換
- (2) 研究協力、共同研究
- (3) 研究設備の相互利用
- (4) シンポジウム等の開催
- (5) その他研究及び教育に寄与する活動

（費用負担）

第4条 前条各号に掲げる相互協力の実施に際しての費用負担については、事前に甲乙が協議するものとする。

（守秘義務）

第5条 甲及び乙は、本協定に基づく活動において、相手方より知り得た秘密事項について、本協定の有効期間中及び有効期間終了後を問わず、その一切について守秘義務を負うものとする。ただし、事前に相手方の承諾を得た場合は、この限りではない。

（期間）

第6条 本協定の有効期間は、締結日から平成21年3月31日までとする。ただし、期間満了の3ヶ月前までにいずれかの当事者からも特段の意思表示がない場合には、同一の条件で1年間延長されるものとし、その後も同様とする。

(協議)

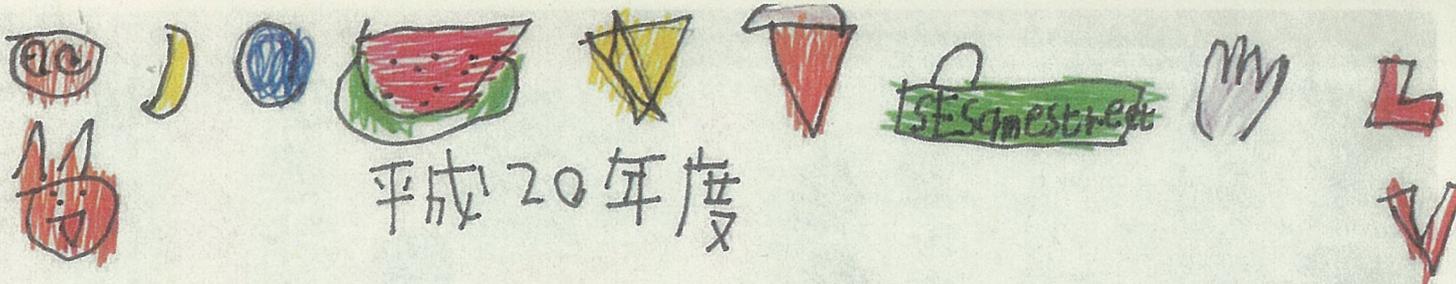
第7条 本協定に定めのない事項については，甲乙協議の上決定するものとする。

本協定締結の証として本協定書を2通を作成し，それぞれ署名の上各自1通を保有する。

平成21年 1 月 2 9 日

甲 鶴岡市若葉町1-23
山形大学農学部長

乙 鶴岡市井岡字沢田104
鶴岡工業高等専門学校長



平成20年度

ハートバザ

山形大学附属特別支援学



期日 平成21年2月24日(火)

時間 10時~14時

場所 ツヤスコ南店(トイザラス 前)

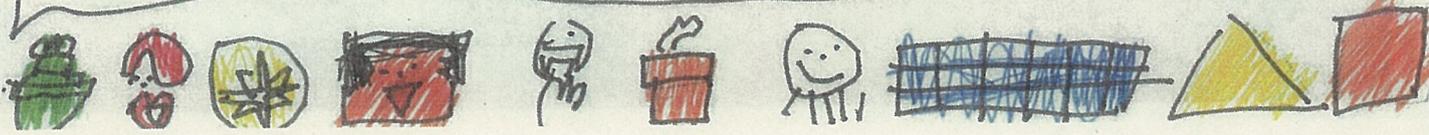
販売製品

縫製: 弁当袋, 買い物バッグ, ストラップ

紙工: はがき, ランチマット

木工: ミニ刘家, ウッドスタンド

マルチラック, おかもちボックス他



平成20年度

ハートバザール

山形大学附属特別支援学校

期日 平成21年2月24日(火)

時間 10時～14時

場所 ジャスコ南店 (トイガラス 前)



販売製品

縫製：弁当袋、買い物バツク、ストラップ。

紙工：はがき、ランチヨソバツク

木工：ミニいす、ウッドスタンド
アルチラツク、おかもちボツクその他

